

学校だより

第2号

いつも心にあいうえお

令和6年7月 1日（月）

発行：那覇尚学院

高等専修学校

文責：初鹿野 修

高等専修学校の1年目の教育実践

高等専修学校の校内研究・・・一人も独りにしない、きき合う関係で学びを深める生徒の育成
～きき合う関係づくりから学び合う学びの構築～



わたしは・・・

私は、あなたと学ぶ
学校は、学力をつける場だ
そんな学校にするために、「きき合う関係」「支え合う関係」と、今は生徒の仲間がいなくても生徒と教師が築いていくことが「学びの共同体」になることだと考える
「分からない」「教えて」からはじまる学びを大切に



わたしは勉強する

私は、あなたと育つ
学校は、規律を学ぶ場だ



わたしとあなたと学ぶ

それは、学校という場に、仲間がいるから
学校は、楽しみのもてる場だ

環境が人をつくり、人が環境をつくる

生徒と教職員が過ごす場が学校。学ぶ場にふさわしい学校環境・教室環境を整えていきたいものです。

一人の生徒にとって、教室・授業はどんな意味をもつのでしょうか？

- ①教室・授業は、楽しいところであってほしい
- ②教室・授業は、学ぶところであってほしい
- ③教室・授業は、昨日と今日の変化があらわれているところであってほしい
- ④教室・授業は、「がんばるぞ」と意欲の高まる場所であってほしい
- ⑤教室・授業は、清潔さ、美しさを感じる場所であってほしい
- ⑥教室・授業は、自分の変容、伸びた様子がみえる場所であってほしい
- ⑦教室・授業は、自分の存在感が十分に認識できる場所であってほしい
- ⑧教室・授業は、だれでも、いつでも、なんでも言える場所であってほしい

人的環境が一番

環境には、物的環境、人的環境、情動的環境があります。学校・教室・授業における人的環境は生徒たちと教職員。教職員の影響は大きい。一人を授業時に観（診）ることで、声をかけることで、生徒の気持ちは変わります。学校・教室・授業の楽しさ、喜び、充実感を知らず知らずのうちに与えているものです。毎日の出会いを大切にしていきましょう。